

「流域治水」の体制・計画

境川流域は、昭和63年から総合治水対策に着手し、流域整備計画等に基づく対策を進めてきました。

特定都市河川に指定し、これらを発展させた法定の計画・体制のもとで対策を加速化します。

境川流域整備計画 (H5.3~、H27.4~) 境川流域総合治水対策協議会

境川上流部浸水対策計画 (H29.3~) 境川上流部浸水対策検討会

特定都市河川に指定し
法定の計画・体制へ

境川流域水害対策計画 境川流域水害対策協議会

洪水・雨水出水による被害の防止・軽減のための
概ね20~30年間の流域全体の対策の決定

流域水害対策計画の策定
浸水被害対策の検討・進捗管理

「流域治水」の主な施策

「法的枠組みの適用による流域治水の本格的実践」
(国土交通省水管理・国土保全局)より抜粋

河川改修・排水機場等のハード整備

流域水害対策計画に位置付けられたハード整備を加速化する
・河道掘削、堤防整備
・遊水地、輪中堤の整備
・排水機場の機能増強 等

雨水貯留浸透施設の整備

流域で雨水を貯留・浸透させ、水害リスクを減らすため、**公共に加え、民間**による雨水貯留浸透施設の整備を促す

- ①雨水貯留浸透施設整備計画の認定
都道府県知事等が認定することで、**補助金の拡充、税制優遇、公共による管理ができる制度等**を創設
- ・対象：民間事業者等
- ・規模要件：≧30m³(条例で0.1~30m³の間で基準緩和が可能)

- ②国有財産の活用制度
国有地の無償貸付又は譲与が可能
- ・対象：地方公共団体



浸水被害防止区域の指定

浸水被害が頻発し、住民等の生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある土地を指定できる

- ・指定権者：都道府県知事
- ・都市計画法上の開発の原則禁止(色色指定区域)
- ・住宅・要配慮者施設等の開発・建築行為を許可制とすることで安全性を確保



浸水被害被害防止区域における居住誘導・住まいづくりの工夫のイメージ

貯留機能保全区域の指定

洪水・雨水を一時的に貯留する機能を有する農地等を指定できる

- ・指定権者：都道府県知事等
- ・盛土等の行為の事前届出を義務化
- ・届出内容に対し、必要に応じて助言・助告が可能



雨水浸透阻害行為の許可

田畑等の土地が開発され、雨水が地下に浸透せず河川に直接流出することにより水害リスクが高まることのないよう、一定規模以上の開発等について、**貯留・浸透対策を義務付ける**

- ・対象：公共・民間による1,000m²以上の雨水浸透阻害行為
- ※条例で基準強化が可能

保全調整池の指定

100m³以上の防災調整池を保全調整池として指定できる

- ・指定権者：都道府県知事等
- ・埋立等の行為の事前届出を義務化

金華山山頂から境川流域を望む



境川流域を特定都市河川及び特定都市河川流域に指定します

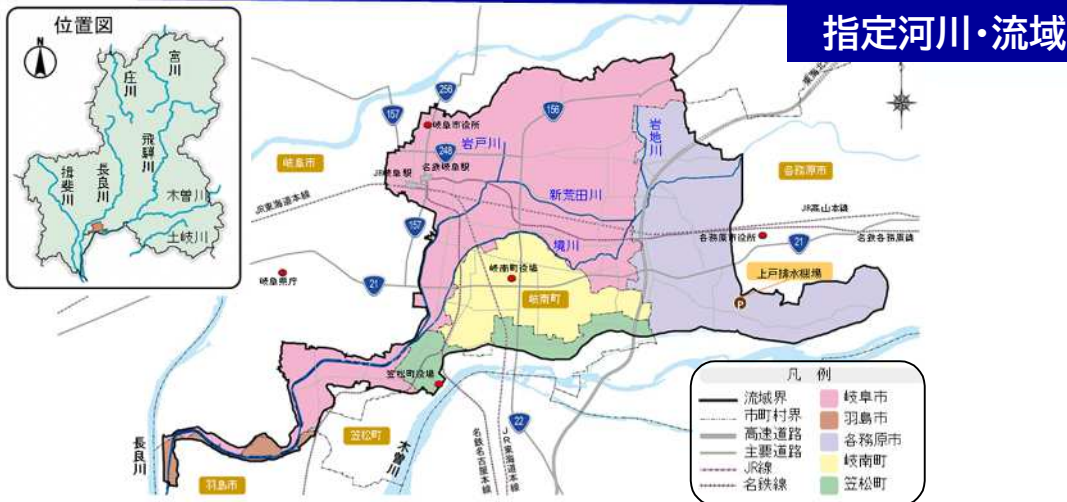
将来の気候変動による水害の激甚化・頻発化に対応するためには、流域の関係者が協働して治水対策をおこなう「流域治水」を推進していくことが重要です。

境川流域(岐阜市、羽島市、各務原市、岐南町、笠松町)では、著しい市街化等に伴う水害の危険の高まりを踏まえ、これまで総合的な治水対策を展開してきました。

これらの対策を強化すべく、境川を「流域治水」の法的枠組みである「特定都市河川・流域」に指定し、河川整備の加速化、流域の貯留浸透機能の向上、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等、水害に強い地域づくりを強力に推進します。



平成25年8月 浸水被害



お問合せ先

①岐阜市内の場合

岐阜市<基盤整備部 河川課>

TEL : 058-214-4846
Mail : kasen@city.gifu.gifu.jp



②羽島市・各務原市・岐南町・笠松町内の場合

岐阜県<岐阜土木事務所 河川砂防課>

TEL : 058-215-0978
Mail : c26001@pref.gifu.lg.jp

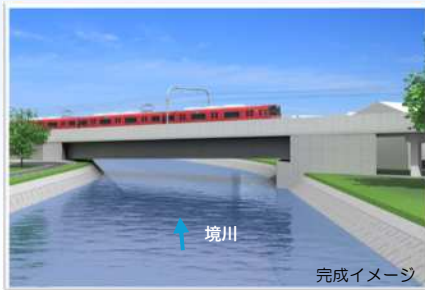
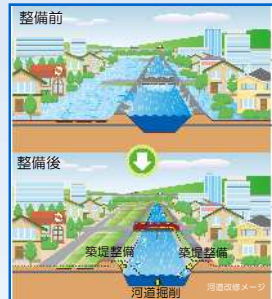


水害に強い境川流域の実現に向けて 河川管理者・下水道管理者による対策の例

流域全員で進める「流域治水」の対策のうち、河川管理者・下水道管理者による対策の例を紹介します
 今後、流域の貯留浸透機能の向上、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等の対策を含めて具体化します

河道改修

- 新荒田川合流地点より上流の区間では未改修区間が多い状況です
- 河川氾濫を未然に防ぐため、名鉄名古屋本線高架化事業に併せた改修をはじめ、**河道掘削、築堤等のハード整備を加速化**します



名鉄名古屋本線鉄道高架化事業に伴う河道拡幅（岐阜市、岐南町）

調節池整備

- 流域内に計画している調節池(洪水調節施設)が未整備の状況です
- 抜本的な対策となる**調節池を整備**することで浸水被害を軽減し、都市部における貴重なオープンスペースとして**平常時の利活用についても積極的に検討**します



整備事例：大和川保田遊水地



- 内水氾濫・外水氾濫の両方に対応する遊水地として整備されている
- 遊水地内上面は日本初の国際規格に準拠したインラインスピードスケート競技用オーバルトラックとなっている
- インラインスピードスケートで世界を目指すアスリートの育成拠点・国際大会出場の出場選手会場として活用される

- 遊水地内に建設された競技場(日産スタジアム)では、過去にサッカーやラグビーのW杯等の国際大会が開催されている

- ラグビーW杯開催中には、遊水地内に洪水が流れ込んだが、ピロティ化された建物に被害は無く、試合は予定通り開催された



整備事例：鶴見川多目的遊水地

下水道整備

- 概ね50mm/h超の降雨に対し十分な雨水排除が困難な状況です
- 雨水を一時的に貯留する調整池などの**都市部の浸水対策を推進**します



山の前1号雨水調整池（各務原市）



円城寺雨水調整池（笠松町）



整備事例：埼玉県 Sakura Lake（大相模調節池）

- 洪水を一時的に貯水する調節池事業と越谷市レイクタウン事業(地区整備事業)が一体的に整備されている
- 周辺に日本最大級のショッピングセンターやBBQ広場をはじめ、水辺空間を活かした施設が整備され、地域に広く親しまれている
- 近年では、調節池のネーミングライトの実施や河川空間のオープン化等の取組も行われている

- 洪水調節施設と名古屋市の総合公園が一体となった施設である
- テニスコート、陸上競技場、ゲートボール場、室内広場や花木園、ピクニック広場、ポート池などの身近なレジャー施設が楽しめる



整備事例：愛知県 庄内緑地（小田井遊水地）